Catalyst スイッチを工場出荷時のデフォルトにリセット

内容

[概要](#)
[前提条件](#)
[要件](#)
[使用するコンポーネント](#)
[表記法](#)
[はじめに](#)
[CatOS が稼働する Catalyst スイッチのリセット](#)
[Cisco IOS ソフトウェアが稼働する Catalyst スイッチのリセット](#)
[スイッチ設定のリセット](#)
[VLAN 情報のリセット](#)
[冗長モードでの Catalyst スイッチのリセット](#)
[関連情報](#)

概要

特定の状況では、Catalyst スイッチの設定を工場出荷時のデフォルト設定に復元することが適切な場合があります。これは、スイッチに存在する不適切な設定を削除するときに便利です。スイッチの設定が済んでいて、その設定が非常に複雑な場合や、スイッチを別のネットワークに移動する場合は、そのスイッチを工場出荷時の初期状態にリセットすると、新しいスイッチとして設定できるようになります。このドキュメントでは、スイッチをリセットするための情報とサンプル コマンドのログを示します。

Catalyst スイッチを工場出荷時のデフォルトにリセットするには、物理的なコンソールまたは Telnet 接続のどちらかを使用してスイッチ コンソールにアクセスする必要があります。これには、コンソール パスワードとイネーブル パスワードも必要です。スイッチのコンソール パスワードとイネーブル パスワードを忘れてしまった場合は、パスワードをリセットするためにスイッチ設定を工場出荷時のデフォルトにリセットすることはできません。その場合は、スイッチのパスワード回復手順に従う必要があります。Catalyst スイッチでパスワードを回復するには、次のドキュメントを参照してください。

- Password Recovery Procedures

注：Telnet接続でスイッチにアクセスしているときにスイッチを工場出荷時のデフォルトにリセットすると、スイッチへの接続が失われます。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンを使用してテストされています。

注：このドキュメントは、これらのCatalystスイッチで作成されたものですが、このドキュメントに記載されている製品に適用される原則です。

- Catalyst OS（CatOS）バージョン 6.4(8) が稼働する Catalyst 5505 スイッチ
- Cisco IOS® ソフトウェアリリース 12.1(19)EA1 が稼働する Catalyst 2950 スイッチ
- Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.1(20)E が稼働する Catalyst 6500/6000 スイッチ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、「シスコ テクニカル ティップスの表記法」を参照してください。

はじめに

スイッチを工場出荷時のデフォルトにリセットする前に、次のタスクの*いずれか*を実行します。

- TFTP サーバで設定をバックアップします。
- 設定をテキスト ファイルにコピーします。
- 設定をブートフラッシュまたは slot0: でローカルにコピーします。デバイスをフォーマットします。

ユーザコンフィギュレーションを削除すると、バックアップした設定を復旧しなければその設定を回復することはできません。TFTP サーバにコンフィギュレーション ファイルをアップロードするには、次のドキュメントを参照してください。

- コンフィギュレーション ファイルの操作

注：テキストファイルの設定をコピーしてコマンドラインに貼り付けると、完全な設定を復元できます。

CatOS が稼働する Catalyst スイッチのリセット

この手順は、CatOS が稼働する Catalyst 4500/4000、5500/5000、および 6500/6000 シリーズ スイッチに適用されます。これらのスイッチでは、ユーザがイネーブル モードでコマンドを入力するたびに、設定内容が自動的に NVRAM に保存されます。Cisco IOS ソフトウェアでは、write memory コマンドまたは copy running-config startup-config コマンドを使用して設定を保存する必要があります。clear config コマンドを使用して、CatOS が稼働するこれらのスイッチでシステムまたはモジュールの設定を工場出荷時のデフォルトにリセットできます。コマンドの構文は次のとおりです。

```
clear config {mod | rmon | all | snmp | acl {nvram}}
```

clear config all コマンドは、モジュール設定だけでなく、システム設定もクリアします。ただし、このコマンドでは、設定レジスタやブート システム設定などのブート変数はクリアされません。**set boot** コマンドを使用して、ブート変数設定を変更できます。スイッチにルータ カードが搭載されている場合、**clear config all** コマンドではルータ カード上の Cisco IOS ソフトウェア設定はクリアされません（これらのルータ カードの例：4000 スイッチ上の WS-X4232-L3 モジュール、5500/5000 スイッチ上の Route Switch Module（RSM; ルート スイッチ モジュール）/Route Switch Feature Card（RSFC）、6500/6000 スイッチ上の Multilayer Switch Module（MSM; マルチレイヤ スイッチ モジュール）/Multilayer Switch Feature Card（MSFC; マルチレイヤ スイッチ フィーチャ カード））。 ルータ カード上の設定をクリアするには、session コマンドを使用してルータ カードにアクセスできます。次に、このドキュメントの「Cisco IOS ソフトウェアが稼働する Catalyst スイッチのリセット」セクションに記載されている手順を使用して、スイッチを工場出荷時のデフォルトにリセットします。次の例に、スイッチの設定を工場出荷時のデフォルトにリセットする方法を示します。

```
Cat5k> (enable) clear config all
This command will clear all configuration in NVRAM.
This command will cause ifIndex to be reassigned on the next system startup.
Do you want to continue (y/n) [n]? y
..........
..........
..............................
2002 Aug 03 15:16:19 %MLS-5-MCAST_STATUS:IP Multicast Multilayer Switching is disabled

System configuration cleared.
Use 'session' command to clear ATM or Router specific configurations.
Console> (enable)
Console> (enable)
```

CatOS での設定の消去の後、スイッチをリロードする必要はありません。設定はただちに有効になり、スイッチが工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。スイッチ上の特定モジュールの設定をクリアする場合は、次のように **clear config *mod* コマンドを発行してください。**

```
Cat5k> (enable) clear config 5
This command will clear module 5 configuration.
Do you want to continue (y/n) [n]? y
..............................
Module 5 configuration cleared.
Cat5k> (enable)
Cat5k> (enable)
```

Cisco IOS ソフトウェアが稼働する Catalyst スイッチのリセット

このセクションの手順は、ルータ カード、モジュラ スイッチや固定構成スイッチ、および Cisco IOS ソフトウェアが稼働する GL-3 Catalyst スイッチ シリーズに適用されます。

- ルータ カードWS-X4232-L3（Catalyst 4006/4000）RSM/RSFC（Catalyst 5500/5000）MSFC/MSM（Catalyst 6500/6000）
- Catalyst モジュラ スイッチCatalyst 6500/6000Catalyst 4500/4000
- Catalyst 固定構成スイッチCatalyst 2940Catalyst 2950/2955Catalyst 2970Catalyst 3550Catalyst 3560Catalyst 3750Catalyst 2900XL/3500XL
- GL-3 Catalyst スイッチCatalyst 2948G-L3Catalyst 4908G-L3

Cisco IOS ソフトウェアが稼働しているスイッチには、実行コンフィギュレーション ファイルとスタートアップ コンフィギュレーション ファイルが保存されています。RAM に実行コンフィギュレーションが格納され、NVRAM にスタートアップ コンフィギュレーションが格納されています。Cisco IOS ソフトウェアが稼働しているスイッチの設定を変更すると、変更内容が実行コンフィギュレーションに取り込まれます。設定の変更はスタートアップ コンフィギュレーションに保存する必要があります。保存しない場合、次回のリロード時または停電時に設定が失われます。これは、スイッチをリロードしたり電源をオフにすると RAM に保存された実行コンフィギュレーションが失われるためです。NVRAM に設定を保存するには、**write memory** コマンドまたは **copy running-config startup-config** コマンドを発行します。変更内容を NVRAM に保存しないと、変更内容は RAM からクリアされ、スイッチのリロード時のスタートアップ コンフィギュレーションには反映されていません。

Cisco IOS ソフトウェアが稼働する Catalyst モジュラ スイッチや固定構成スイッチでは、VLAN 情報は別のファイルに格納されています。このファイルは vlan.dat ファイルと呼ばれ、モジュラ スイッチの場合は NVRAM に、固定構成スイッチの場合は Flash に格納されます。これらのスイッチを工場出荷時のデフォルトにリセットするには、スタートアップ コンフィギュレーション ファイルと vlan.dat ファイルを削除する必要があります。Catalyst 2948G-L3/4908G-L3 スイッチおよびルータ カードを工場出荷時のデフォルトに復元する場合は、スタートアップ コンフィギュレーション ファイルを削除するだけです。これらのスイッチは VLAN Trunk Protocol（VTP）に参加しないので、VLAN 情報は含まれません。

スイッチ設定のリセット

スイッチを工場出荷時のデフォルトにリセットするには、erase startup-config または write erase コマンドを発行します。このコマンドでは、設定レジスタやブート システム設定などのブート変数はクリアされません。**boot** コマンドを使用して、ブート システム パラメータを変更できます。Cisco IOS ソフトウェアが稼働する Catalyst 4500/4000 および 6500/6000 シリーズ スイッチでは、config-register コマンドを使用してコンフィギュレーション レジスタ値を変更できます。

次の例に、**write erase** コマンドを使用して、Cisco IOS ソフトウェアが稼働するスイッチを工場出荷時のデフォルトにリセットする方法を示します。

```
Cat2950# write erase
Erasing the nvram filesystem will remove all files! Continue? [confirm]y[OK]
Erase of nvram: complete
Cat2950#
Cat2950# reload

System configuration has been modified. Save? [yes/no]: n
!--- Do not save the configuration at this prompt. Otherwise, the switch !--- reloads with the
current running configuration and does not reset to default. Proceed with reload? [confirm]y

2w0d: %SYS-5-RELOAD: Reload requested

C2950 Boot Loader (C2950-HBOOT-M) Version 12.1(11r)EA1, RELEASE SOFTWARE (fc1)
Compiled Mon 22-Jul-02 18:57 by antonino
WS-C2950G-12-EI starting...

!--- Output suppressed. 32K bytes of flash-simulated non-volatile configuration memory. Base
ethernet MAC Address: 00:05:DC:C9:79:00 Motherboard assembly number: 73-5781-08 Motherboard
serial number: FAB0515A069 Model revision number: 02 Model number: WS-C2950-24 System serial
number: FAB0517Q00B --- System Configuration Dialog --- Would you like to enter the initial
configuration dialog? [yes/no]:n 00:00:16: %SPANTREE-5-EXTENDED_SYSID: Extended SysId enabled
for type vlan 00:00:21: %SYS-5-RESTART: System restarted -- Cisco Internetwork Operating System
Software IOS (tm) C2950 Software(C2950-I6Q4L2-M)Version 12.1(19)EA1, RELEASE SOFTWARE (fc1)
```

```
Copyright (c) 1986-2003 by cisco Systems, Inc. Compiled Tue 09-Dec-03 00:12 by yenanh Press
RETURN to get started! 00:00:37: %LINK-5-CHANGED: Interface Vlan1, changed state to
administratively down 00:00:38: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed
state to down Switch> Switch>
```

これで、VLAN 情報以外のスイッチの設定が工場出荷時のデフォルトにリセットされました。

VLAN 情報のリセット

VLAN 情報を工場出荷時のデフォルトにリセットするには、Flash または NVRAM から vlan.dat ファイルを削除し、スイッチをリロードします。vlan.dat ファイルは、Cisco IOS ソフトウェアが稼働する 6500/6000 シリーズ スイッチでは const_nvram に格納されます。Cisco IOS ソフトウェアが稼働する 4500/4000 シリーズ スイッチでは cat4000_flash: に格納されます。2940、2950/2955、2970、3550、3550、3560、3570、および 2900XL/3500XL 固定構成スイッチでは flash: にそれぞれ保存されます。

6500/6000スイッチでvlan.datファイルを消去するには、**erase const_nvram:** コマンドが表示されない場合もあります。4500/4000スイッチでは、**erase cat4000_flash:**コマンドが表示されない場合もあります。固定構成スイッチでは、**delete flash:vlan.dat** コマンドを発行します。

手順の例では、Catalyst 固定構成スイッチで VLAN 情報を削除する方法を示しています。Cisco IOS ソフトウェアが稼働する 6500/6000 および 4500/4000 の場合は、それぞれのコマンドで同じ手順を使用できます

1. VLAN 情報を確認するには、show vlan コマンドを発行し、vlan.dat ファイルを確認するには、dir コマンドを発行します。

```
Cat2950# show vlan

VLAN Name                             Status    Ports
---- -------------------------------- --------- -------------------------------
1    default                          active    Fa0/1, Fa0/2, Fa0/3, Fa0/4
                                                Fa0/5, Fa0/6, Fa0/7, Fa0/8
                                                Fa0/9, Fa0/10, Fa0/11, Fa0/12
                                                Fa0/13, Fa0/14, Fa0/15, Fa0/16
                                                Fa0/17, Fa0/18, Fa0/19, Fa0/20
                                                Fa0/21, Fa0/22, Fa0/23, Fa0/24

2    VLAN0002                         active
3    VLAN0003                         active
4    VLAN0004                         active

!--- Despite the erase of the startup configuration file, !--- these user-created VLANs
remain. 600 VLAN0600 active 1002 fddi-default active 1003 token-ring-default active 1004
fddinet-default active 1005 trnet-default active VLAN Type SAID MTU Parent RingNo BridgeNo
Stp BrdgMode Trans1 Trans2 ---- ----- ---------- ----- ------ ------ -------- ---- --------
------ ------ 1 enet 100001 1500 - - - - - 1002 1003 2 enet 100002 1500 - - - - - 0 0 3
enet 100003 1500 - - - - - 0 0 4 enet 100004 1500 - - - - - 0 0 600 enet 100600 1500 - - -
- - 0 0 1002 fddi 101002 1500 - - - - - 1 1003 1003 tr 101003 1500 1005 - - - srb 1 1002
1004 fdnet 101004 1500 - - 1 ibm - 0 0 1005 trnet 101005 1500 - - 1 IBM - 0 0 Switch#
Cat2950# dir flash:
!--- On the 4500/4000, issue the dir cat4000_flash: command. !--- On the 6500/6000, issue
the dir const_nvram: command.

Directory of flash:/

2  -rwx     2487439   Mar 11 1993 01:25:32  c2950-i6q4l2-mz.121-9.EA1d.bin
3  -rwx         840   Mar 20 1993 09:20:09  vlan.dat
!--- This vlan.dat file stores user-configured VLANs. 4 -rwx 2491435 Mar 08 1993 16:14:13
c2950-mvr.bin 6 -rwx 42 Mar 01 1993 00:07:35 env_vars 7 -rwx 109 Mar 11 1993 01:23:56 info
```

```
8 drwx 640 Mar 11 1993 01:26:35 html 19 -rwx 109 Mar 11 1993 01:26:35 info.ver 7741440
bytes total (1088512 bytes free) Switch#
```

2. Flash または NVRAM から VLAN 情報を削除し、スイッチをリロードします。**注：**Cisco IOSソフトウェアの初期バージョンを実行する6500/6000および4500/4000では、**deleteコマンドが機能**しない場合があります。その代わりに、**erase const_nvram:**または **erase cat4000_flash:** の各コマンドを発行する必要があります。コマンド構文で vlan.dat ファイルを指定しないでください。ただし、Cisco IOS ソフトウェアの最近のバージョンでは、6500/6000 で **delete const_nvram:vlan.dat** コマンドが有効で、4500/4000 で **delete cat4000_flash:vlan.dat** コマンドが有効です。

```
Cat2950# delete flash:vlan.dat
Delete filename [vlan.dat]?
!--- Press Enter.

Delete flash:vlan.dat? [confirm]y

Cat2950# reload
Proceed with reload? [confirm]y
4w5d: %SYS-5-RELOAD: Reload requested
```

3. リロード後、**show vlan** コマンドを使用して VLAN 情報を確認します。コマンド出力にはユーザ設定の VLAN が表示されなくなります。工場出荷時のデフォルトである VLAN 情報だけがスイッチに残ります。

```
Cat2950# show vlan

VLAN Name                             Status    Ports
---- -------------------------------- --------- -------------------------------
1    default                          active    Fa0/1, Fa0/2, Fa0/3, Fa0/4
                                                Fa0/5, Fa0/6, Fa0/7, Fa0/8
                                                Fa0/9, Fa0/10, Fa0/11, Fa0/12
                                                Fa0/13, Fa0/14, Fa0/15, Fa0/16
                                                Fa0/17, Fa0/18, Fa0/19, Fa0/20
                                                Fa0/21, Fa0/22, Fa0/23, Fa0/24
1002 fddi-default                     active
1003 token-ring-default               active
1004 fddinet-default                  active
1005 trnet-default                    active

VLAN Type  SAID       MTU   Parent RingNo BridgeNo Stp  BrdgMode Trans1 Trans2
---- ----- ---------- ----- ------ ------ -------- ---- -------- ------ ------
1    enet  100001     1500  -      -      -        -    -        0      0
1002 fddi  101002     1500  -      -      -        -    -        0      0
1003 tr    101003     1500  -      -      -        -    -        0      0
1004 fdnet 101004     1500  -      -      -        ieee -        0      0
1005 trnet 101005     1500  -      -      -        IBM  -        0      0
Switch#
```

冗長モードでの Catalyst スイッチのリセット

CatOS が冗長モードで稼働する 6500/6000 および 5500/5000 スイッチの場合、スタンバイ スーパーバイザ エンジンはアクティブ スーパーバイザ エンジンの変更内容に同期されます。**clear config** コマンドを使用してアクティブ スーパーバイザ エンジンの設定を工場出荷時のデフォルトにリセットすると、スタンバイ スーパーバイザ エンジンも工場出荷時のデフォルトにリセットされます。set config mode コマンドを使用して設定モードがバイナリ モードあるいはテキスト モードに設定されているかどうかにかかわらず、アクティブ スーパーバイザ エンジンで設定がクリアされるとスイッチが工場出荷時のデフォルトにリセットされます。

冗長モードで Cisco IOS ソフトウェアが稼働する 6500/6000 スイッチを工場出荷時のデフォルトにリセットするには、次の手順を実行する必要があります。

1. アクティブ スーパーバイザ エンジンで **erase startup-config** コマンドを使用して、スタートアップ コンフィギュレーションを削除します。**注：これにより**、スタンバイ側のスーパーバイザエンジンのスタートアップコンフィギュレーションも消去されます。
2. このドキュメントの「VLAN 情報のリセット」セクションの説明に従って vlan.dat ファイルを削除します。
3. reload コマンドを使用して、アクティブ スーパーバイザ エンジンをリロードします。

注：スーパバイザエンジンがリロード後にROMmonモードに入る場合は、ブート変数をチェックして、適切なイメージからブートするように設定されているかどうかを確認します。詳細なトラブルシューティング情報は、『Cisco IOS システム ソフトウェアが動作している Catalyst 6500 または 6000 での、ブート ローダー イメージの破損や欠落あるいは ROMmon モードからの回復』も参照してください。

関連情報

- **LAN 製品に関するサポート ページ**
- **LAN スイッチングに関するサポート ページ**
- **技術サポート**
- **ハードウェアのサポート**
- **テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems**